本社ガスビルサービスセンター、支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大 阪 06 (202) 2221
南 支 社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大 阪 06 (652) 0001
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪 06 (301) 1251
堺 支 社	〒590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎ 堺 0722(38) 1131
北 摂 支 社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高 槻 0726(71) 0361
阪 神 支 社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西 宮 0798(26) 3101
東 部 支 社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河 内 0729(62) 1131
京 阪 支 社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚 方 0720(41) 1251
神 戸 支 社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸 078(576) 5231
京 都 支 社	〒604	京都市中京区鯉丸御池梅屋町358	☎京 都 075(231) 8151
奈 良 支 社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1－1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫 路 支 社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路 0792(85) 2221
東 播 支 社	〒675	加古川市加古川町栗津29－1	☎加古川 0794(21) 1801
豊 岡 支 社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡 07962(3) 2221
湖 南 支 社	〒525	草津市追分町字荒張680の1	☎草 津 0775(62) 5311
彦 根 支 社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦 根 0749(22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長 浜 0749(62) 7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

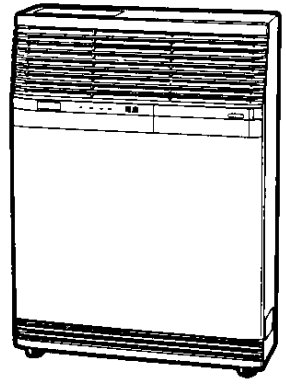
形式の呼び
GHC-229T(m)
GHC-229T
GHC-339T(m)
GHC-339T

〈FFタイプ〉

ガスルームエアコン

室内ユニット	室外ユニット
44-331型	04-331型
44-341型	04-341型

取扱説明書(保証書付)



大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスルームエアコンをお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

ページ

■特長……2
■必ずお守りください……3
■各部の名称とはたらき……5
■ご使用方法 ■暖房運転……7
■冷房運転……8
■ドライ運転……9
■自動運転……10
■現在時刻セットのしかた……11
■タイマーセットのしかた……11
■タイマーセット解除のしかた……12
■セーブ運転、■光センサーおやすみ運転……13
■室温セットのしかた……14
■加湿を必要とされる場合……15
■風向調節のしかた……15
■知っていただきたいこと……16
■上手な使いかた……17
■日常の点検、お手入れのしかた……18
■ご使用上の注意……21
■設置について……22
■異常時の処置……23
■修理を依頼される前に……24
■アフターサービスのお申し込み……26
■仕様と外形寸法図……27

■特　長

●冬はガスでパワフル暖房
●夏は電気でさわやか冷房
●雨の季節は電気でさわやか除湿

梅雨どきや秋にも活躍するドライ機構
ドライ

湿度センサーと室温センサーの働きで、温度が約2℃以上下がらないよう、湿度が約60%になるまで除湿します。

朝晩のスイッチはタイマーまかせ
デジタルおはよう・おやすみ

おはようタイマーは、お望みの時刻に運転を開始し、おやすみタイマーは1時間だけ運転します。

いっそうの省エネ運転を実現
暖冷房セーブ運転

室温が設定温度に達すると、室温を自動的に暖房時は30分後に1℃、さらに30分後に1℃下げ、冷房時は1℃上げて省エネ運転を行います。

安らかな眠りの環境を創り出す
光センサーおやすみ運転

セーブ運転中は、消灯を光センサーが感知。
室温を暖房時は5℃下げて、冷房時は2℃上げて、快適な眠りを創りだします。

快適さをまんべんなく届ける
暖冷房左右自動首ふり

冷温風吹出口の縦グリルが左右に自動首ふり。
温風、冷風が室内にまんべんなくゆきわたり、室温分布をいっそう均一にします。

室温の変化に応じてガス量を調節
ガス比例制御

室温の変化に応じて、暖房能力をきめ細かく調節。
室温変化の少ない、より快適な暖房を行います。

お部屋にパッと広がる暖かさ
急速暖房運転

室温15℃以下から運転を始めるとき、暖房能力を自動的に15%アップ。
暖房立上がり時間を早めました。

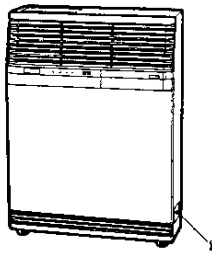
スイッチON時の室温に応じて自動選択
自動運転

運転切換を「自動」にすることで、スイッチON時の室温に応じて「暖房」「ドライ」「冷房」運転を自動選択します。

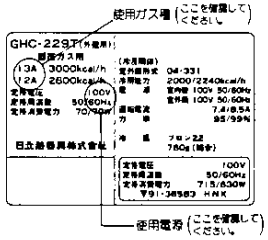
■必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

室内ユニットの右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類、電源電圧と、お宅のガス、電圧が一致しているかをまず確かめてください。

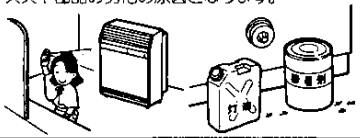


室内ユニット右側銘板(例)

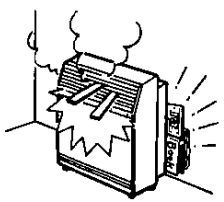


- この器具は交流100V用です。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、ガスの種類の一致を必ず確かめてください。
  部品の交換や調整が必要となる場合があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

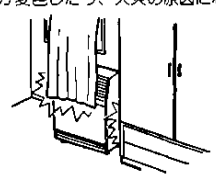
室内ユニットやバランストップのそばに危険物(ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また2m以内でヘアースプレーなどの引火物を使用しないでください。
火災や部品の劣化の原因となります。



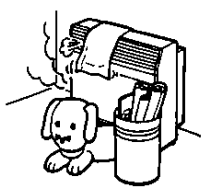
温風吹出口や室内ユニットの背面にものを入れないでください。
煙がでたり、火災の原因になります。



暖房時、室内ユニットの上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を置いたり近づけたりしないようにしてください。
カーテンが変色したり、火災の原因になります。

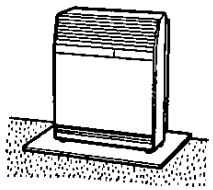


温風吹出口の前にものを置いたり、ふさいだりしないでください。
異常過熱して室内ユニットの故障の原因となります。

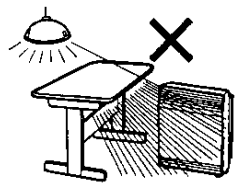


■必ずお守りください

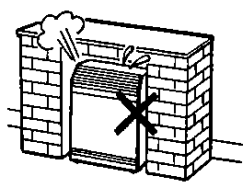
機器の重量に耐えられ、水平に設置できる床を選んでください。
畳などの場合には、丈夫な台を使用します。
毛足の長いじゅうたんの上にそのまま設置すると、室温センサーの動作不良の原因となるため、丈夫な台を使用します。



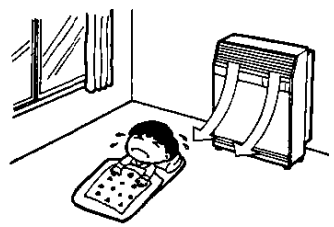
お部屋の明るさを感知する光センサーが機器の前面にあります。
家具やテーブルなどで影にならない場所を選んでください。



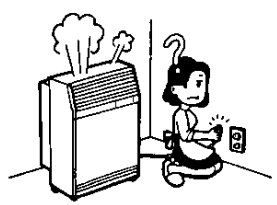
マントルピースなどにはめ込んで設置しないでください。
室温センサー、光センサー、湿度センサーが作動しにくくなります。



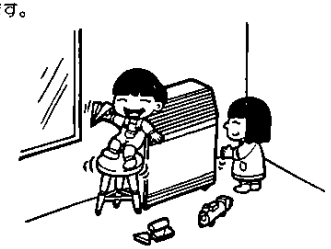
温風を長時間、直接からだにあてないようにしてください。「脱水状態」になったり、「低温やけど」の原因になります。特に体力のない病気のかた、乳幼児・お子様・お年寄りには回りのかたがじゅうぶん注意してください。



電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。
室内ユニットが過熱し故障の原因となります。

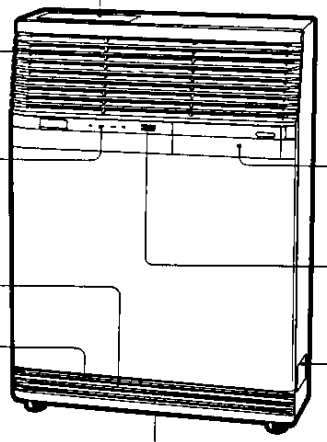


室内ユニットの上にこしかけたり、乗ったりしないでください。
「やけど」や室内ユニットの変形の原因になります。

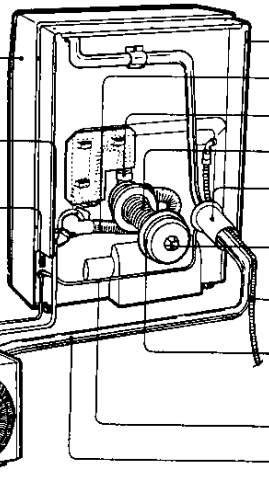


■各部の名称とはたらき

外観図



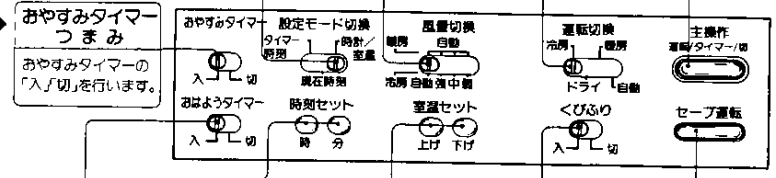
- 銘板：「使用上のご注意」「操作のしかた」を表示しています。
- 吹き出しグリル
- 冷温風吹出口：冷風・温風がここから吹き出します。
- 表示部：各種のランプ表示等です。(右ページ参照)
- 操作部：ふたを開くと内部に操作部があります。
- 湿度センサー：湿度を感知します。
- 空気吸い込みグリル
- エアーフィルター：空気吸い込みグリル内にあり、空気中のホコリを取り除きます。(空気吸い込みグリルの内側と機器下部(内側)の2ヵ所にあります。)
- 銘板：ガス種、電源等を表示しています。
- 室温センサー：室温を感知します。



- 室内ユニット
- 背面カバー
- 給気ホース
- 排気管
- ガス配管
- バランストップ
- 保護パイプ
- 加湿器専用コンセント：超音波式加湿器（市販品）用電源として利用できます。
- 排気口：排気ガスが出ます。
- 電源コード
- ドレンホース
- 室外ユニット
- 給気口：燃焼用空気を吸い込みます。
- 吸込口(背面)
- 連絡電線
- 冷媒配管
- 吹出口

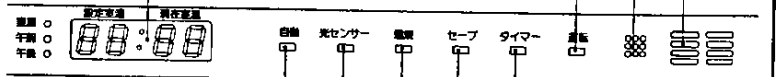
操作部

- 設定モード切換つまみ：現在の時刻とおはようタイマー運転時刻をセットするとき切換えます。通常は「時計／室温」に合わせておきます。
- 風量切換つまみ：風量の切換を行います。(暖房は全て「自動」冷房は選択切換)
- 運転切換つまみ：「暖房」「ドライ」「冷房」「自動」運転の切換を行います。
- 主操作ボタン：押すたびに「運転」「タイマー」「切」の順で切り替わります。
- おやすみタイマーつまみ：おやすみタイマーの「入」「切」を行います。
- おはようタイマーつまみ：おはようタイマーの「入」「切」を行います。
- 時刻セットボタン：現在の時刻とタイマー運転の時刻をセットします。
- 室温セットボタン：設定室温を上げ・下げします。
- くびふりつまみ：くびふり運転の「入」「切」を行います。
- セーブ運転ボタン：押して「セーブ運転」の運転と停止を行います。



表示部

- デジタル表示
  - ●運転時は「設定室温」「現在室温」を表示します。
  - ●停止時は「現在時刻」を表示します。
  - ●おはようタイマー運転時、主操作ボタンを押したときから5秒間ほど、設定時刻を表示します。
  - ●故障・異常があったとき、故障カ所を符号で表示します。
- 運転ランプ：運転状態になっているときに点灯します。
- 光センサー：明かるさを感知します。
- 湿度センサー：湿度を検知します。



- 自動ランプ：自動運転中に点灯します。
- 光センサーランプ：照明を消し、おやすみ運転中に点灯します。
- 燃焼ランプ：燃焼しているときに点灯します。
- セーブ運転ランプ：セーブ運転中に点灯します。
- タイマーランプ：タイマー運転中に点灯します。

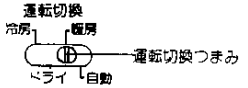
■ご使用方法

ガスルームエアコンは、暖房・冷房・ドライと3通りの運転ができます。
次の手順にしたがって操作ふたを開けてから、おこなってください。

暖房運転

- ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ●お部屋のガスせんを全開にしてください。
- ●運転ランプが点滅します。主操作ボタンを押し、消灯させてください。
- ●現在時刻をセットしてください。（詳しくは ☞11ページ）

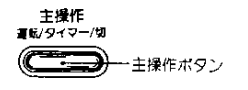
1 運転切換つまみを「暖房」に合わせます。

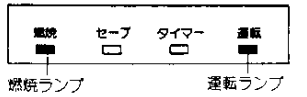


2 主操作ボタンを押します。

運転ランプが点灯し、約15秒後に燃焼ランプが点灯します。
温風はさらに約40秒後、自動的に出ます。

- ●デジタル表示に設定室温(22)と現在室温が表示されます。
- ●設定室温はあらかじめ22℃で運転できるようになっています。なお、設定室温を変えたいときは、14ページをご覧ください。



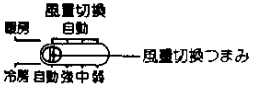


ご注意

- ●燃焼ランプが点滅しているときは、運転できません。
  主操作ボタンを押し、燃焼ランプが消えてからもう一度主操作ボタンを押してください。
- ●現在室温が設定室温より高いときは、燃焼しません。

3 暖房運転の場合、風量切換つまみは切換えの必要はありません。

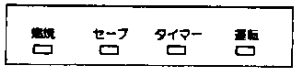
「暖房」運転時は、どの位置でも室温に応じて風量が自動的に「強」「中」「弱」に切換わります。



4 運転の停止はもう一度主操作ボタンを押します。

点灯しているランプはすべて消灯します。

- ●停止操作を行っても温風ファンは1分程運転を続け、機器内部が十分冷えると自動的に停止します。
- ●デジタル表示は時刻をセットしている場合は「現在時刻」の表示に変わります。
（図は午後10時30分の例です。）

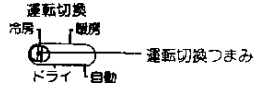


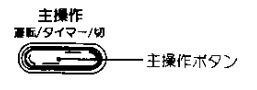
■ご使用方法

冷房運転

- ●室外ユニットにカバーがしてある場合は取り外してください。
- ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ●運転ランプが点滅します。主操作ボタンを押し、消灯させてください。
- ●現在時刻をセットしてください。（詳しくは ☞11ページ）

1 運転切換つまみを「冷房」に合わせます。

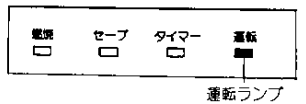




2 主操作ボタンを押します。

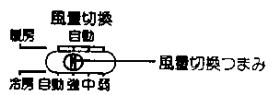
運転ランプが点灯し、冷風が出てきます。

- ●デジタル表示に設定室温(27)と現在室温が表示されます。
- ●設定室温はあらかじめ27℃で運転できるようになっています。なお、設定室温を変えたいときは、14ページをご覧ください。



3 風量切換つまみをお好みの風量に合わせます。

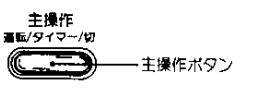
「自動」または「強」「中」「弱」が選べます。
「自動」にすると室温に応じて風量が自動的に「強」「中」「弱」に切換わります。

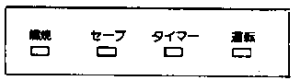


4 運転の停止はもう一度主操作ボタンを押します。

点灯しているランプはすべて消灯します。

- ●デジタル表示は時刻をセットしている場合は「現在時刻」の表示に変わります。
（図は午後10時30分の例です。）



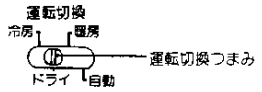


■ご使用方法

ドライ運転

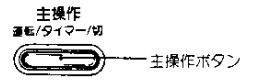
- ●室外ユニットのビニールカバーがしてある場合は取り外してください。
- ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ●運転ランプが点滅します。主操作ボタンを押し、消灯させてください。
- ●現在時刻をセットしてください。(詳しくは ☞11ページ)

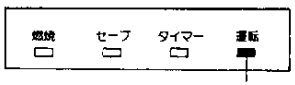
1 運転切換つまみを「ドライ」に合わせます。



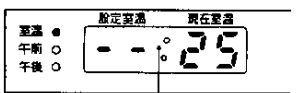
2 主操作ボタンを押します。

運転ランプが点灯します。





- ●湿度が下がり、約60%になるか室温がスタート時点より約2℃下がると自動的に送風を停止します。
  湿度または温度が上がれば自動的に送風を開始します。
- ●デジタル表示は現在室温のみ表示します。
- ●風量切換つまみの位置に関係なく「弱」風量になります。



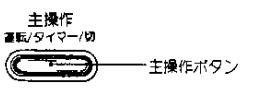
ご注意

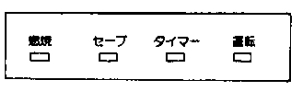
- ●ドライ運転時は、室温調節はできません。
- ●運転を停止したとき、もう一度運転操作しても3分間は運転しません。
- ●湿度がスタート時すでに60%以下のときは、送風しません。

3 運転の停止はもう一度主操作ボタンを押します。

点灯しているランプはすべて消灯します。

- ●デジタル表示は時刻をセットしている場合は「現在時刻」の表示に変わります。
  (図は午後10時30分の例です。)





■ご使用方法

自動運転

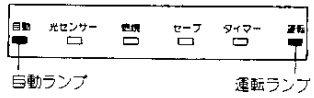
- ●室外ユニットのカバーがしてある場合は取り外してください。
- ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ●お部屋のガスせんを全開にしてください。
- ●運転ランプが点滅します。主操作ボタンを押し、消灯させてください。
- ●現在時刻をセットしてください。(詳しくは ☞11ページ)

1 運転切換つまみを「自動」に合わせます。

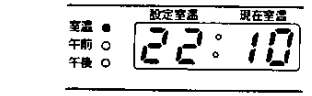
2 主操作ボタンを押します。

運転ランプと自動ランプが点灯します。
その後は運転開始時の室温に応じて自動選択し、運転を行います。

- ●室温が22℃以下の場合
  自動的に設定室温22℃の「暖房」運転になります。
  デジタル表示に設定室温(22)と現在室温が表示されます。
- ●室温が23~26℃の場合
  自動的に「ドライ」運転になります。
  デジタル表示には現在室温のみ表示します。
- ●室温が27℃以上の場合
  自動的に設定室温27℃の「冷房」運転になります。
  デジタル表示に設定室温(27)と現在室温が表示されます。
- ●設定室温を変えたいときは、14ページをご覧ください。



●「暖房」運転



●「ドライ」運転

●「冷房」運転

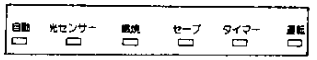
3 風量切換つまみでお好みの風量に合わせます。

- ●暖房運転時は、風量切換つまみの位置に関係なく「自動」になります。
- ●冷房運転時は、「自動」または「強」「中」「弱」が選べます。
- ●ドライ運転時は、風量切換つまみの位置に関係なく「弱」風量になります。

4 運転の停止はもう一度主操作ボタンを押します。

点灯しているランプはすべて消灯します。

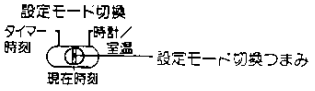
- ●停止操作を行っても温風ファンは1分程運転を続け、機器内部が十分冷えると自動的に停止します。(暖房運転時)
- ●デジタル表示は時刻をセットしている場合は「現在時刻」の表示に変わります。
  (図は午後10時30分の例です。)



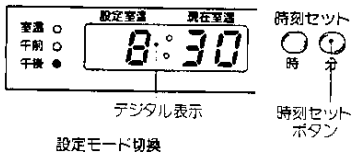
■ご使用方法

現在時刻セットのしかた

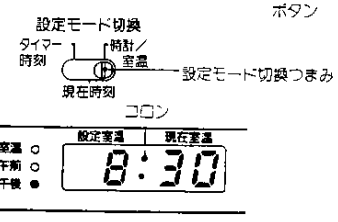
1 設定モード切換つまみを「現在時刻」に合わせます。



2 現在の時刻を、時刻セットボタンを押してセットします。
- ●時間を合わせるときは「時」を押します。
- ●分を合わせるときは「分」を押します。
- ●午前と午後を変えるときは「時」を押し続けます。(図は午後8時30分の例です。)



3 設定モード切換つまみを「時計／室温」に合わせます。
「コロン」が点灯し、時計が動きはじめます。
(図は午後8時30分の例です。)



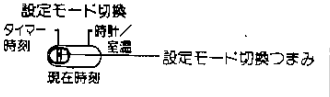
現在時刻は一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは、再度時刻合わせをやりなおしてください。

タイマーセットのしかた

「現在時刻」がセットされていることを確認してください。

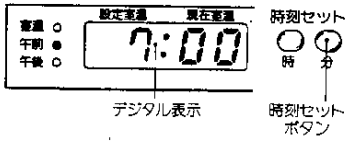
〈おはようタイマー〉

1 設定モード切換つまみを「タイマー時刻」に合わせます。

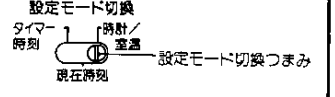


2 お望みの時刻を、時刻セットボタンを押してセットします。
(図は午前7時にセットした例です。)

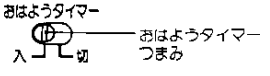
運転時刻は一度セットすると記憶されています。次回から同じ時刻に運転するときは、あらためてセットする必要はありません。



3 設定モード切換つまみを「時計／室温」に合わせます。
- ●デジタル表示は「現在時刻」に変わります。

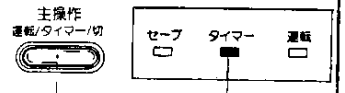


4 おはようタイマーつまみを「入」にします。



■ご使用方法

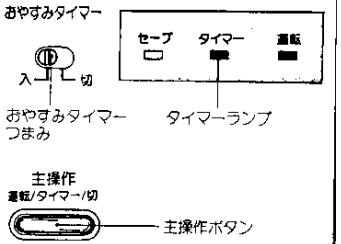
5 タイマーランプが点灯するまで主操作ボタンを押します。(1回または2回)
- ●デジタル表示に5秒間セットされた時刻が表示され、その後は「現在時刻」に変わります。
- ●お望みの時刻になるとタイマーランプが消え、運転を開始します。



〈おやすみタイマー〉

1 おやすみタイマーつまみを「入」にします。

2 タイマーランプが点灯するまで主操作ボタンを押します。(1回または2回)
- ●主操作ボタンを押したときから、1時間後に運転が停止します。

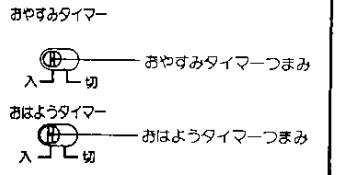


〈おやすみタイマーとおはようタイマーの同時セット〉

1 おはようタイマーの時刻を、お望みの時刻にセットします。

2 おやすみタイマーつまみ、おはようタイマーつまみをそれぞれ「入」にします。

3 タイマーランプが点灯するまで主操作ボタンを押します。(1回または2回)
- ●1時間後に運転が停止し、お望みの時刻に運転を再開します。



タイマーセット解除のしかた

主操作ボタンを押すと停止となり、もう一度押すと通常運転(タイマーなし運転)となります。

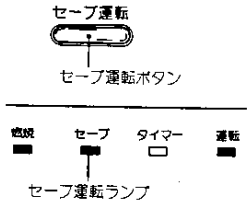
タイマー運転 → 停　止 → 通常運転(タイマーなし運転)

- ●「おはようタイマーつまみ」「おやすみタイマーつまみ」が「切」のときは、タイマー運転となりません。

■ご使用方法

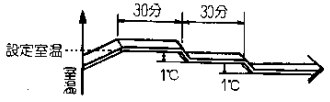
セーブ運転

通常運転中またはタイマー運転中にセーブ運転ボタンを押すとセットされます。
セット時はセーブ運転ランプが点灯します。



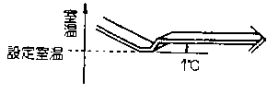
暖房時

室温が設定室温に達したときから、徐々に1℃ずつ下げます。



冷房時

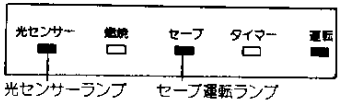
室温が設定室温になると、1℃上げます。



光センサーおやすみ運転

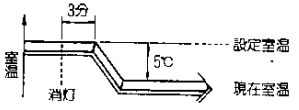
■次のようなときには自動的に"光センサーおやすみ運転"を行います

セーブ運転にしてお部屋の照明を消灯すると自動的に「光センサーおやすみ運転」状態になります。
そのときは光センサーランプが点灯します。
（なお、蛍光灯の保安球程度の明るさが点灯していても「おやすみ運転」になります。）



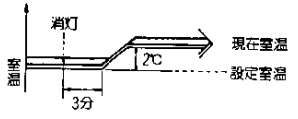
暖房時

設定室温より5℃下げた運転を行います。



冷房時

設定室温より2℃上げた運転を行います。



●セーブ運転の解除のしかた
セーブ運転ボタンをもう一度押してください。セーブ運転ランプが消え、解除されます。

■ご使用方法

室温セットのしかた

初めて運転されるときは、設定温度が暖房は22℃、冷房は27℃にセットされています。
設定温度を変えたいときは以下の方法で室温調節をしてください。

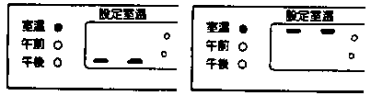
■設定室温を変えるときは

デジタル表示の設定室温を見ながら室温セットボタンの「上げ」か「下げ」を押し、お好みの室温にセットします。

（20℃の例）

●設定室温は15℃から32℃の範囲でセットできます。

〔15℃未満、32℃を越えては、セットできません。その場合デジタル表示は右図のように「－－」になります。〕



〈15℃未満のセットの場合〉　〈32℃を越えるセットの場合〉

●設定室温は、一度セットすれば記憶しています。
電源プラグを抜いたり、停電した場合には、暖房時：22℃、冷房時：27℃に再セットされます。

■現在室温表示について

●現在室温は8℃から36℃の範囲が表示されます。
（8℃以下のときでも8が表示されます。）

●現在室温は部屋の温度のめやすです。
温度計とは一致しないことがあります。

〈ご注意〉

●温度調節は一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度室温調節をやりなおしてください。

こんなときは異常ではありません

室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室温と一致しません。
室内温度の目安として参考にしてください。

■ご使用方法

加湿を必要とされる場合

この機器には加湿装置は内蔵されていません。
加湿が必要な場合は、市販の加湿器をご使用ください。

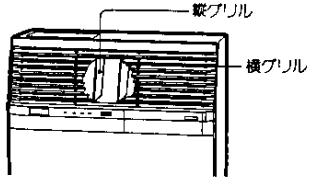
超音波式加湿器の場合のみ、以下のように機器背面の加湿器専用コンセントを利用できます。
超音波加湿器以外の機器には使用しないでください。

①加湿器の電源プラグを機器背面の加湿器専用コンセントに差し込みます。
②加湿器の運転スイッチを「入」にします。
③機器の主操作ボタンを押し、運転ランプが点灯すると、接続した加湿器がご使用になれます。
④機器の運転を停止すると、同時に加湿器も停止します。
（次回使用のときは、機器の主操作ボタンを押すと加湿器も同時に運転します。）
●加湿器のみを停止するときは、加湿器の運転スイッチを「切」にします。

風向調節のしかた

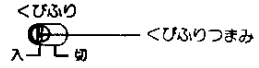
■上下の風向調節

横グリルを上下に動かして調節してください。
1本動かせば他の7本も一緒に動きます。
●暖房時下向き、冷房時・ドライ時上向きにすると効果的です。



■左右の風向調節

くびふりつまみを「入」にします。
●風が出ているときのみくびふりを運転します。
●左右の風向を固定するときは、くびふりつまみを「入」にして、縦グリルがちょうどよい方向に向いたとき「切」にします。



ご注意　●停止中、無理に縦グリルを動かさないでください。

■知っていただきたいこと

運転条件

エアコンを正しく使っていただくために、次の条件で運転してください。
（これ以外の条件で長時間運転しますと、保護装置がはたらき運転できないことがあります。）

暖房運転	外気の温度　約21℃以下
冷房運転	外気の温度　約21℃以上　43℃以下 部屋の温度　約21℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下 梅雨時など湿度の高いとき長時間運転すると、エアコンの表面に露がつき滴下することがあります。
ドライ運転	外気の温度　約15℃以上　43℃以下 部屋の温度　約15℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下 梅雨時など湿度の高いとき長時間運転すると、エアコンの表面に露がつき滴下することがあります。

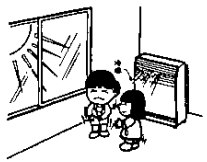
冷房時3分間停止について

室外ユニットが運転を停止しますと、約3分間は運転は再開しません。
これは機械を保護するためで故障ではありません。そのましばらくお待ちください。

■上手な使いかた

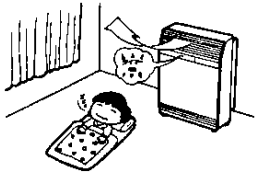
ムダな電力を節約し、快適にお使いいただくために

冷房時、室内外の温度差は約5℃に



●冷やしすぎは、健康上よくありません。また電気のむだ使いになります。

タイマーを使う



●タイマーを使って必要な時間だけ運転してください。

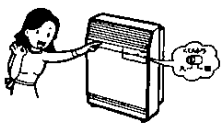
窓や戸はきちんと閉めて

●冷風や温風がお部屋から逃げないように、窓や戸は必要以上に開けないようにしてください。

エアーフィルターの清掃はこまめに

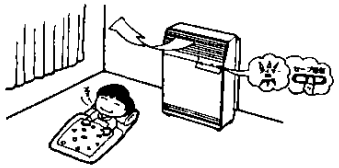
●エアーフィルターの目づまりは風量をへらし、冷暖房、除湿効果を弱めます。
1週間に1回は清掃を。

室内温度はムラのないように



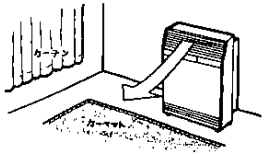
●室温のムラを少なくするように風向調節を。冷風は上向きにします。

おやすみ時、冷やしすぎは禁物



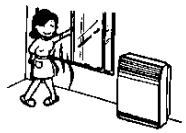
●セーブ運転やタイマーを使用して快適な睡眠を。

窓にはカーテンを



●冷房運転時にはカーテンなどを閉め、直射日光が入らないように。暖房時には床にカーペットを敷きますと暖房効果が増します。

ときどき換気を



●窓を閉め切ることが多いのでときどき換気をしてください。

■日常の点検、お手入れのしかた

長い間お使いいただくために、お使いになるみなさまの日ごろの点検・手入れが必要です。次の点検・手入れはぜひ守って実行してください。

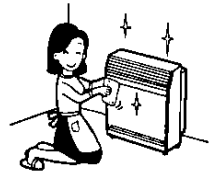
点検・手入れの際のご注意

●暖房シーズン中の点検・手入れは、室内ユニットをじゅうぶんに冷やしてからおこなってください。

●点検・手入れについては、下記の日常の点検・手入れ以外はお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。

●安全装置・ファン・燃焼器・電気部品・ガスの通路部分の分解はしないでください。

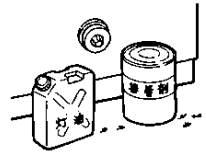
●部屋のガス元せんを閉じてください。



■周囲の可燃物の点検

●器具の近くに紙・プラスチック・布類など燃えやすいものが置いていないか点検してください。

●バランストップの周囲に可燃物・引火物を置いていないか点検してください。



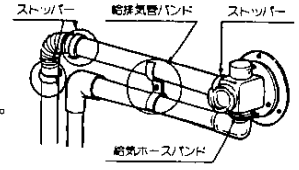
■温風吹出口から異臭がしませんか

●運転中に温風吹出口から異臭がしていないか点検してください。
万一、異臭がしていましたら、ただちに使用をやめてお買い上げになった販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。

■給気ホース・排気管の点検

●給気ホース・排気管が正しくしっかりつながっているか、また、延長配管では接続箇所がストッパーで固定されているか、点検してください。

●延長配管の場合は排気管にシミができていないか点検してください。
運転中、排ガスが室内にもれますと非常に危険です。
万一外れたり、破損していたらただちに使用をやめてお買い上げになった販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。



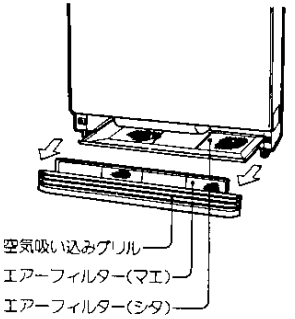
■日常の点検、お手入れのしかた

1週間に1回以上

■エアーフィルターのお手入れ

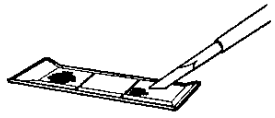
シーズン始めおよび1週間に1回以上は、次の手順で必ず清掃してください。
ゴミやほこりがたまると風量が減って暖房効果が悪くなるばかりか、異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。

〈お手入れの順序〉
エアーフィルターは、空気吸い込みグリルの内側と、機器下面(内側)に挿入されています。



1 エアーフィルターの取り外しは空気吸い込みグリルの両側を持ち、手前に引いて外してから、内側のエアーフィルターを取り出してください。
- ●エアーフィルター(マエ)を空気吸い込みグリルから引き抜くように外してください。
- ●エアーフィルター(シタ)を機器下面(内側)から引き出すように外してください。

2 エアーフィルターを点検し、ほこりだまりや汚れなどがあるときは、電気掃除機やブラシで落とすか、水または中性洗剤で洗い流してよく乾燥してください。
- ●エアーフィルターの乾燥は陰干ししてください。熱を使うと変形することがあります。

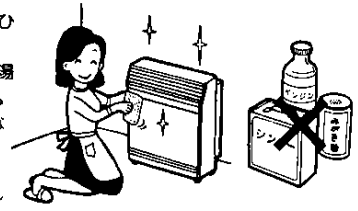


3 エアーフィルター、空気吸い込みグリルを元どおりに戻してください。
- ●エアーフィルターなしで運転すると故障することがあります。

1ケ月に1回以上

■室内ユニット外装のお手入れ

吹き出しグリル、機器の外装などは、汚れがひどくならないうちにお手入れしてください。
お手入れには、やわらかい布を使い、ぬるま湯にひたしよくしぼったものでふいてください。
- ●ベンジン、シンナー、クレンザーなどは使わないでください。
  塗装面やプラスチックをいためます。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



■日常の点検、お手入れのしかた

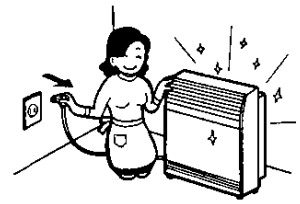
長期間使用しない場合

シーズンオフには次のように取り扱ってください。

■暖房シーズンが終わったら次のような点検、手入れをおこなってください。

1 ガス元せんを閉め、室内ユニットをじゅうぶんに冷やしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 室内ユニット外装、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。
(詳しくは19ページを参照してください。)



〈ご注意〉
- ●室内ユニット内部の清掃はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。
- ●たたみ替え、じゅうたんのはり替えなどで室内ユニットをお客様自身で移動したり、設置したりしないでください。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。(有料)

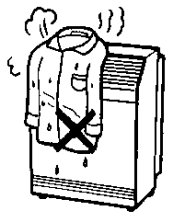
■冷房シーズンが終わったら次のような点検、手入れをおこなってください。

1 エアーフィルターの掃除をし、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

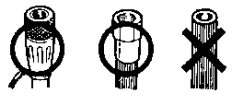
2 室外ユニットにゴミやほこりが入らないようにカバーをかけておいてください。特にバランストップの近くに室外ユニットが設置してある場合は、暖房時の排ガスにより腐食することがありますので、必ずカバーをかけてください。

■ご使用上の注意

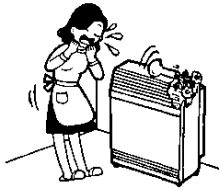
暖房・冷房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。
暖房時、衣類などを室内ユニットの上に置いたりしますと、温風吹出口がふさがれてしまい、室内ユニット内に熱がこもって異常過熱し、室内ユニットに悪影響を与えることがあります。



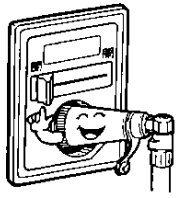
ガス接続は、タイマー器具専用ガスコードまたは強化ガスホースを使用し、ガス用ゴム管は絶対に使用しないでください。
タイマー器具専用ガスコードまたは強化ガスホースはときどき点検してください。
(タイマー器具専用ガスコードは機種・ガス種により使用できない場合があります。)



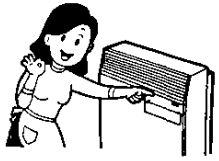
室内ユニットの上に花びんをのせたり、水のかかるところでは使用しないでください。



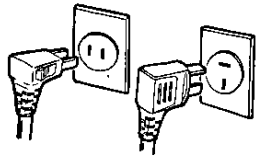
長期不在、暖房シーズンオフなどの場合は必ずガス元せんを閉じてください。



外出するときは、必ず主操作ボタンを押して「切」にしてください。



電源プラグを抜くと、設定温度、時刻などの記憶が解除されます。



●特殊場所(メッキ・塗装工場・繊維関係の工場など)でのご使用は、お避けください。
室内ユニットの故障の原因になります。

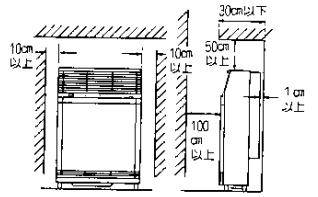
■設置について

設置上のご注意

お客様ご自身が設置された場合の故障・事故についてはいっさい保証いたしません。
設置する場合は、お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

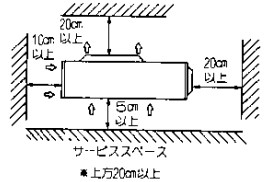
●周囲に可燃物・危険物がない場所でお使いください。

●定期点検および修理作業できる間隔として、右図の空間をあけているかどうか確認してください。



●室内ユニットの前方に障害物を置きますと温風を吸い込んで室温調節器がひんぱんに作動して室温調節ができないことがありますので、障害になるものを置かないでください。

●室外ユニットを設置する場合は、冷房能力が低下しないよう、右図の寸法がとれる位置に設置してください。



●正しく設置されているか、工事説明書を参照して確認してください。

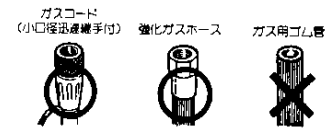
ガスの接続

●ガスの接続は大阪ガス指定のタイマー器具専用ガスコードまたは強化ガスホースを使用してください。

〈ご注意〉

●室内ユニットの背面のガス接続部はゆるめたりしないでください。

●ガス元せんに接続する場合、タイマー器具専用ガスコードまたは強化ガスホースは折り曲げたり、引っ張りなどの力がかからないように、また室内ユニットや排気管などに触れないようにしてご使用ください。



電気の接続

●電源コンセントは専用に設けてください。

●機種によりコンセント形状、ブレーカー容量が異なります。

	44-331	44-341
コンセント形状	⑪	Ⓣ
ブレーカー容量	15A	20A

■異常時の処置

ガスもれに気づいたとき

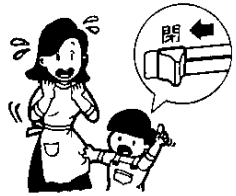
- ガス元せんを閉じ、窓や戸を開けて、ガスを外へ出してから、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

異常を感じたとき

- あわてずに主操作ボタンを押して「切」にし、部屋のガス元せんを閉めてじゅうぶんな点検をお願いします。

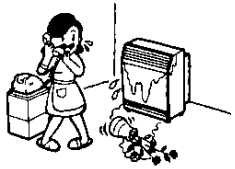
(「修理を依頼される前に」については、24~25ページをお読みください。)



水をこぼしたとき

- 万一室内ユニットに水をこぼして内部をぬらした場合は、運転を停止し電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご相談ください。

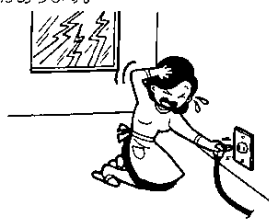
ぬれたまま運転すると、漏電、火災などの原因となることがあります。



雷が接近したとき

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。

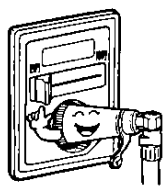
激しい雷の影響で室内ユニットが故障することがあります。



停電したとき

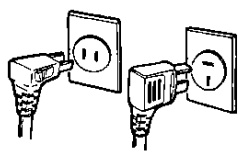
- 主操作ボタンを押して「切」にし、部屋のガス元せんを閉めてください。

通電後に再度運転操作をおこなってください。



冷房時

- 電源プラグが熱くなったり、ヒューズやブレーカーがたびたび切れるときや、緊急の場合は、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いてください。



■修理を依頼される前に

次のことを調べてください

状　況	点　検　事　項
運転しないとき	①電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ②お部屋のガスせんが全開になっていますか。(暖房時) ③ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ④停電ではありませんか。 ⑤バランストップ先端がカバーなどでふさがれていませんか。(暖房時) ⑥エアーフィルターにホコリが詰っていませんか。(暖房時) ⑦空気吸い込みグリルや冷温風吹出口が障害物でふさがれていませんか。(暖房時)
よく暖まらないとき、または、よく冷えないとき	①エアーフィルターにホコリが詰っていませんか。 ②設定室温が適正な温度になっていますか。 ③室内ユニットの空気吸い込みグリルや冷温風吹出口が障害物でふさがれていませんか。 ④室外ユニットにビニールカバーがかけてあったり、周囲に空気の流れを妨げる障害物がありませんか。(冷房・ドライ時) ⑤部屋の窓や戸があいていませんか。 ⑥冷温風吹出口のグリルが適正な向きになっていますか。
変な音がするとき	バランストップ先端がカバーなどでふさがれていませんか。(暖房時)

次のような現象は故障ではありません

	現　象	理　由　と　処　置
暖房時	シーズン始めや長時間運転しなかった後、なかなか燃焼ランプがつかない。	燃焼ランプがつくまで運転操作を繰り返してください。
	初めて運転したときや、シーズン始めには、煙やにおいがでる。	内部の熱交換器などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
	運転中に「カチン」と音がする。	室温調節をするための電磁弁(電気で開閉するガス弁)、リレーなどの作動音です。
	部屋が乾燥する。	部屋の温度が上がると相対湿度が下がるためです。市販の加湿器等で加湿してください。
	点火後や消火後にキシミ音がでる。	熱交換器などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音で、故障ではありません。
	運転してもすぐに温風が出てこない。	約40秒ほどして機器内部が暖まると、自動的に温風が出はじめます。(冷風を出さない処置です。)
	停止してもすぐに温風ファンが停止しない。	1分程度機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
冷房時	水の流れるような音がする。	冷房に使用する液(冷媒)が流れる音です。
	冷温風吹出口から霧が出ているように見える。	低温多湿時に見られる現象で、部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
	においがでる。	空気中に含まれたたばこの煙、化粧品、食品などのにおいが機器に付着し、それが吹き出すためです。

なお、異常のあるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

■修理を依頼される前に

こんな症状のときは使用を中止し販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような現象が見られる場合には、使用を中止して必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。

現　象	予測される故障
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。
燃焼中に機体が異常に熱くなったり、運転開始時や運転中に異常音がする。	安全装置が作動し、運転を停止します。 (「E04」表示) 主操作ボタンを押しても再運転できません。 室内ユニットが損傷していたり、部品が故障しているおそれがあります。
燃焼中温風吹出口から異臭がする。	排ガスがもれているおそれがあります。
表示部に「E05」「E06」「E08」「E10」を表示する。	運転中にバランストップがふさがれたり、給気ホース内にゴミが詰っていたり、または部品が故障しているおそれがあります。

安全装置が作動したときの処置方法

■過熱防止装置 E04

エアーフィルターの目づまりや温風吹出口に障害物があり、室内ユニット内部が過熱しかけた場合には、過熱防止装置が作動して運転を停止し「E04」が表示されます。

(室内ユニットがひえれば再運転ができます。)

- エアーフィルターのお手入れ(19ページ参照)または障害物を取り除いてください。

■停電安全装置

運転中に停電(瞬時停電も含む)になりますと安全装置が作動し運転を停止します。

- 停電時は使用できません。
- 再び通電しても自動的に運転しませんので、主操作ボタンを押しなおしてください。

■立消え安全装置

ガス圧が異常に低いときや、ガス元せんのガスヒューズが作動した場合などで燃焼が停止したとき、バーナーのガス通路を閉じ生ガス流出による事故を防止し燃焼ランプが点滅します。

- 部屋のガス元せんが全開になっているか、ガス元せんのガスヒューズが作動していないか確認してください。

■アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 24~25ページの「修理を依頼される前に」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品　名……FFタイプガスルームエアコン
(2)品　番……左側面に貼付してあります。

(例)

(N)44-331(U)
大阪ガス株式会社 03

(3)現　象……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- **ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

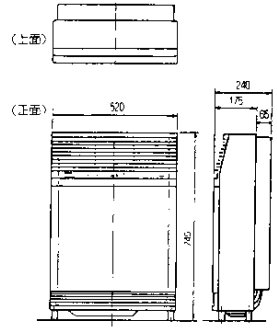
- **この器具には保証書がついています。**

このガスルームエアコンは保証書の記載のように器具の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

■仕様と外形寸法図

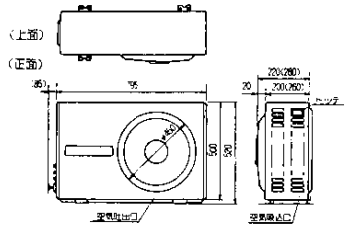
外形寸法図

室内ユニット



室外ユニット

※(　)内は04-341を示します。



単位(mm)

仕　様

項目＼種別			44-331(室内ユニット)、04-331(室外ユニット)		44-341(室内ユニット)、04-341(室外ユニット)	
形式の呼び			GHC-229T	GHC-229T(T)	GHC-339T	GHC-339T(T)
ガス消費量	都市ガス	6A、6C、13A	3000kcal/h		4200kcal/h	
	LPガス	LPG	0.24kg/h		0.33kg/h	
暖房能力			2500kcal/h		3500kcal/h	
冷房能力			2240kcal/h		2800kcal/h	
外形寸法(mm)			高さ745×幅520×奥行240			
重量(kg)			27(室内ユニット)		27.5(室内ユニット)	
接続	ガス		6A、6C …PT3/8オネジ	13A、LPG …スリムプラグ	6A、6C、13A …PT3/8オネジ	LPG …スリムプラグ
	電気		AC100V 50/60Hz			
	冷媒管		フレア接続(液管φ6.35、ガス管φ9.52)		フレア接続(液管φ6.35、ガス管φ12.7)	
消費電力(W)			暖房時70、冷房時830		暖房時70、冷房時1165	
排気温度(℃)			260以下			
給排気方式			密閉式(強制給排気式)			
燃焼方式			ブンゼン燃焼方式			
暖房方式			強制対流式			
点火方式			放電点火式			
安全装置			立消え安全装置、過熱防止装置、電流ヒューズ、停電安全装置			

MEMO

MEMO

MEMO

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社にご連絡ください。